令和9年4月、新たに専門職大学院を設置

神戸大学 大学院医学系研究科

医療経営管理学専攻

DXがひらく医療のみらい



求める人材

1 データに基づく全体最適化を基盤として、医療経営の変革を経営改善や業務改善等の面で主導し、地域医療マネジメントでも活躍することを目指す人材、また幅広く医療経営や情報戦略統合管理を学ぶ動機を有する社会人。

2 医療経営・情報戦略統合管理を学修するのに必要な実務経験、基礎知識及び論理的思考力を有する人材。

修得する能力

データ駆動・効率化・質向上

デジタル技術を体系的に理解し、データ駆動によって医療の効率化と質の向上を両立させる創造的な能力。［専門性・創造性］

倫理・対話・統制力

医療倫理に基づいた意思決定を行い、高い対話力とリーダーシップで組織を円滑に管理・統制する能力。［人間性］



経営・法規・地域医療

財務、法規、地域医療から危機管理まで、経営と医療の質を両立させるための高度な専門知識。［専門性］

DX利活用・法的課題・デジタル動向

医療情報システムやデータ利活用の法的課題、デジタル技術における国内外の最新動向に関する深い知見。［専門性・国際性］

革新・データ分析・海外動向

国内外の動向を捉え、データ分析や戦略策定を通じて、医療経営と現場業務を革新する実践的な能力。［創造性・国際性］

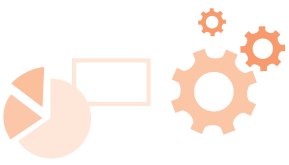
養成する人材像

ITと経営で全体最適を導く医療リーダー教育



最新の情報技術やグローバルな医療政策・マネジメントの知見を基盤にし、医療情報に関する専門知識と高度な医療経営への専門性の修得により、創造的な課題解決能力と豊かな人間性に根ざした全体最適化能力を発揮し、組織を牽引する人材。

データと政策で地域医療を変革するリーダー教育



医療データに基づく公共医療政策を理解の上で、地域の全体最適化能力を発揮し、医療現場における変革を牽引する人材。

データ駆動型経営で医療の変革を牽引する人材教育



医療分野への情報技術基盤の応用を推進し、データ駆動型の経営・業務の改善により医療経営の変革を牽引する人材。

教育カリキュラム

	科目区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期
必修	医療経営基礎科目	医療倫理 医療コミュニケーション 医療プロフェッショナリズム	医療の質・安全管理	
必修	病院管理・医療マネジメント科目	医療管理総論 保健医療・診療情報管理 医療統計学基礎 医療関連法	医療人材管理 会計管理学基礎 公共医療政策 病院経営管理	
必修	医療情報専門科目		医療情報・経営戦略 医療デジタル戦略概論	
必修		課題解決型特別研究1（1年通年）		
必修	病院管理・医療マネジメント実践科目			医療経営・病院管理演習 医療事業継続計画策定演習 医療人材育成
必修	情報・経営総合戦略実践科目		医療情報活用実践実習	課題解決型特別研究2
選択	医師向け（履修モデル）	経営学基礎 医療情報解析演習	病院マネジメント管理特論 診療報酬・施設基準管理実践 医療マーケティング・ブランディング演習	医療経営学実践演習 医療情報技術各論 災害危機管理医学
選択	医師以外の医療職向け（履修モデル）	経営学基礎	地域医療・地域包括ケア特論 診療報酬・施設基準管理実践	医療データ分析演習 災害危機管理医学
選択	事務職向け（履修モデル）	医学・医療基礎 病院危機管理特論 クリニカルパス特論	医療マーケティング・ブランディング演習	医療情報安全管理特論 医療経営学実践演習

医療経営管理学専攻の特色

- 医療経営を網羅する **多角的かつ体系的な学び**
- 理論に留まらない、即戦力を養う **実践的なプログラム**
- 平日夜間（オンライン）と土曜日（対面）の授業 **柔軟な履修スタイル**
- 第一線で活躍する実務家教員による **最先端のリアルな講義**

授与される学位

医療経営管理学修士（専門職）

修了後に想定される進路

- 医療機関の病院長、副病院長等の病院執行部 等
- 医療機関の部門長、職能団体の長 等
- 病院の事務長や地方公共団体の行政職員
- 病院経営のコンサルタント 等

入試情報

課程	専攻名	区分	募集人員	科目	入試日	合格発表
専門職学位課程	医療経営管理学専攻	一般入試	10名	口述試験 出願書類	令和9年 1月31日（日）	2月中旬 予定

Q&A

Q1 なぜ今「医療経営管理学」が必要なのですか?

A 少子高齢化と医療費増大、人材不足が加速する中、データとデジタルの力で効率的かつ質の高い医療を提供できるリーダーの育成が重要だからです。そこで今回、我々は過去の病院経営に関わる教育経験を発展させ、医療経営管理の専門家を育成する大学院課程を開設するものです。

Q2 医療職(医師・看護師等)ですが、経営やITの知識がなくてもついていけますか?

A はい、問題ありません。本専攻は、医療現場の知見を経営に活かすことを目的としています。基礎から段階的に学べるカリキュラムを組んでおり「経営学基礎」を選択科目として導入しています。また、実務経験を「経営管理」や「医療DX」という新たな専門性へと昇華させるための社会人向けの実践的なサポート体制も整えています。

Q3 平日の日中に仕事がありますが、通学は可能ですか?

A 柔軟な学びの環境を提供しています。平日夜のオンライン授業の活用や土曜日の対面授業の設定など、仕事と研究を両立しやすい環境づくりに努めています。神戸大学という知の拠点で、多様なバックグラウンドを持つ仲間と切磋琢磨できることも本専攻の大きな魅力です。

Q4 地方自治体や行政に関わる人間にとっても、この専攻で学ぶ意義はありますか?

A はい、非常に大きな意義があります。地域医療の持続可能性は、今や行政にとって最大の課題です。本専攻では、マクロな視点から公共医療政策を読み解き、データに基づいて地域の医療資源を最適化する「全体最適」の視点を養うため、自治体の政策担当者にとっても極めて実践的な学びとなります。

Q5 「医療経営管理学」を学ぶことで、キャリアにどのような変化が期待できますか?

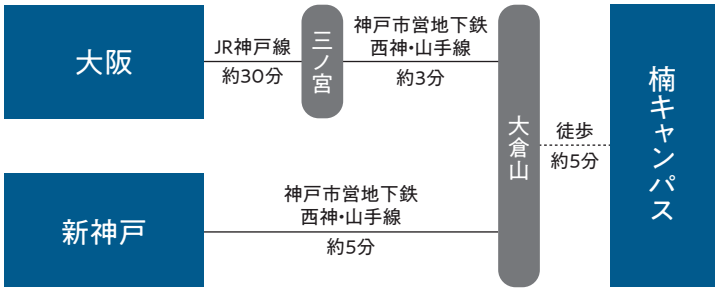
A 「医療現場」のリーダーから、「組織」のリーダーへと飛躍できます。これまでの経験に「データ分析」と「経営戦略」の軸が加わることで、病院経営幹部や、行政における地域医療政策の担当者など、組織の意思決定に直接関与するハイレイヤーなポジションへの道が拓けます。

Q6 入学試験の内容はどのようなものですか?

A 本専攻の入学試験は、口述試験と出願書類による審査になります。具体的な試験の内容は検討中ですが、口述試験では主として医療、情報、経営、病院経営、地域医療等の分野の基礎的な知識、適正や意欲等を含めた論理的思考力を評価します。外国語の試験やTOEIC等の点数を問う予定はありません。

アクセス

●大阪駅・新神戸駅から



お問い合わせ

神戸大学医学部
新研究科等設置準備事務室
plan-junbi4@office.kobe-u.ac.jp

https: // www.med.kobe-u.ac.jp/gsm/